

Muse不具合一覧 - Bug #91  
(V6.63)曲尾到達時に巻き戻しシークを行うと、その後の再生で無音演奏となる

2013/12/31 16:34 - Redmine Admin

|          |    |          |            |
|----------|----|----------|------------|
| ステータス:   | 終了 | 開始日:     | 2013/12/18 |
| 優先度:     | 通常 | 期日:      | 2013/12/18 |
| 担当者:     |    | 進捗 %:    | 100%       |
| カテゴリ:    |    | 予定工数:    | 0.00時間     |
| 対象バージョン: |    | 作業時間の記録: | 0.00時間     |

説明

状況(2013.12.18)

V6.64にて対応済み。

(原因)  
演奏が曲尾到達した際に、以下の処理を実施している。  
①音源のクローズ処理を行う  
②演奏開始ノート=NULLにクリアする  
一方、巻き戻しシークのイベントが起こった場合は、シーク位置の演奏開始ノートが新たにセットされる。  
今回の事象は、①の処理中に巻き戻しシークのイベントが発生するもので、そこで演算された演奏開始ノートが、その後に続く②の処理でクリアされるために発生した。  
演奏開始ノート=NULLの場合、MIDI音源に発音メッセージを送信しない。  
しかるに演奏開始時刻はシークポイントを堅持しているため、無音演奏という事態に陥った。

本件は、V6.33→V6.34で行った「タイマー停止時に適度なインターバルを与え、その後にMIDI音源のクローズを実施する」という対処により、  
①に積極的な処理時間を与えることとなり、その結果発現しやすくなった。  
しかし、あくまでも発現確率が高まっただけであり、V6.34で与えたインターバルが真因ではない。

(対処)  
演奏が曲尾に到達した時点で、即座に演奏開始ノート=NULLにクリアし、その後でインターバルを含む音源クローズを行うことにした。  
これにより、シーク操作が音源クローズ中に起こっても、その演算結果である演奏開始ノートがクリアされることはなくなった。

(補足)  
本対処とは直接の関係は無いが、V6.64よりビルド環境をVS2005からVS2010に変更した。  
これにより、以降の対応OSは、XP/7/8/8.1となる。  
V6.60でのユニコード対応により、98/Me/2000のサポートが難しくなったことがきっかけである。

概要(2013.12.18)

V6.41～V6.63で発生を確認しましたが、V6.26では発生しないようです。

【現象】  
コマンド\*MARK""のある曲の再生中、最後に到達した瞬間にシークバーの[<]をクリックすると、次に鍵盤をクリックして再生した際に無音となる。タイミングはかなりシビア。  
音が消えても、一度停止して再開すると再び音が出る。

【再現コード】  
  
dddd \*MARK"" dddd

【追記】  
本件の不具合を発現させるためには\*MARK""は必ずしも必要でなく、以下の様な再現コードにおいても、曲尾到達タイミングで[BS]キーを押下して曲頭に巻き戻すと、続く再生で同様に無音演奏となる。  
  
dddd

**関連するチケット:**

関連している Release # 184: Muse V6.63

**終了****2013/12/06****履歴****#1 - 2013/12/31 16:34 - Redmine Admin**

- 説明 を更新